

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターひばり園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (内2組がきょうだい児)	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者通園であるため、子育ての悩みやお子さんの困りを早期に捉え対応することが出来ます。肯定的な注目(褒める)対応が増えることで自信を育み良い親子の循環ができたり、虐待防止や二次障がい予防に繋がったりします。	・出来るだけ早期に面談の場が設定できるように、面談希望表を掲示しており、自己発信が容易にできる環境面の工夫をおこなっています。	・保護者からの希望によるものだけではなく、定期的に全員の保護者や家族と面談がおこなえるように取り組んでいきたいと考えています。
2	・当園の保育士以外にも、法人内には様々な職種の専門スタッフがいる。他職種と連携を図りながら、多方面からお子さんの行動や言動の理由に仮説を立てて、オーダーメイドの適切な支援に繋げることが出来ています。	・当園の保育士および法人の多職種スタッフが保護者講座で講師となって専門的に話し、お子さんへの理解を深めていただけるように家族支援をおこなっています。	・日頃、一緒に通園することが難しい家族への講座を年間行事の中に設定していきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者通園が原則であるため、両親が就労している場合は利用が困難となるケースがあります。	・定期的な登園が難しいご家庭に対しては、当園の保育士がおこなっている外来保育をご利用いただき、お子さんの発達支援および家族支援に取り組んでいます。	・サービス提供時間の枠を複数設け、多様な家庭状況に合わせた利用の選択ができるように取り組んでいます。また、契約曜日に登園できない時は、別日に振替え登園に応じられるような工夫をしています。
2			
3			